

●例題 8 方程式のつくり方を考える

教科書p.92

次の問題を、右の①~③の順序で考えなさい。

- ① 求める数量を  $x$  で表す。
- ② 数量の間の関係を見つけて、方程式をつくる。
- ③ 方程式を解いて、答を求める。

ある中学校の1年生の人数は、男子は女子よりも14人多く、男女合わせると162人です。1年生の女子の人数を求めなさい。

How

よく読む

- ・ 知りたいもの、わからないものを  $x$  (字) を使って表す。
- ・ 知りたいもの、わからないものが2つあれば、1つを  $x$ 、もう1つを  $x$  を使って表す。
- ・ =合計、=結果 となることが多いので、合計、結果を  $\square$  でかく
- ・ 言葉の式をかき
- ・ 式になりそうな文に、下線をひく
- ・ 公式を思い出す

知りたいもの  $\Rightarrow$  1年生の女子の人数 を求めなさい。  
 $x$  にする

他にわからないもの  $\Rightarrow$  男子の人数  
 $x$  を使って表す  $\rightarrow$  「...は」という表現は、「=」になることが多い

文中の(ヒント) 男子は女子よりも14人多く。  
 男子 =  $x$  + 14.

男子 の人数	+	女子 の人数	=	男女合わせた 人数
$(x+14)$		$x$		$= 162$

1つの  $\square$  が多項式のときは  $( )$  をつける

計算は自分でかかんばってみよう

●例題 9 個数と代金の問題

教科書p.93

1個80円のかきと1個130円のなしを合わせて10個買いました。そのときの代金の合計は1000円でした。かきとなしは、それぞれ何個買いましたか。

How

よく読む

- ・ 知りたいもの、わからないものを  $x$  (字) を使って表す
- ・ 知りたいもの、わからないものが2つあれば、1つを  $x$ 、もう1つを  $x$  を使って表す
- ・ =合計、=結果 となることが多いので、合計、結果を  $\square$  でかく
- ・ 言葉の式をかき
- ・ 式になりそうな文に下線をひく
- ・ 公式を思い出す

買物の問題は、代金の式を作ることが多い。  
 代金 = 1つの値段  $\times$  個数

知りたいもの  $\Rightarrow$  かき と なし の個数  
 $x$  にする  $x$  を使って表す  $10-x$   
 「文中の(ヒント) かきとなしを合わせて10個買いました」

かきの 代金	+	なしの 代金	=	合計の 代金
1個の値段 $\times$ 個数		1個の値段 $\times$ 個数		
$80 \times x$		$+ 130 \times (10-x)$		$= 1000$

1つの  $\square$  が多項式のときは、 $( )$  をつける

これを解くと、 $x = 6$  となる

かきとなしの個数は、  
 かき  $x = 6$   
 なし  $10-x = 4$

A かき 6  
 なし 4

わかさのヒント 数字をさる  
 かき なし  
 1  $\rightarrow$  9  
 2  $\rightarrow$  8  
 10-9  
 10-8  
 どうも2. なしの個数  
 出しはるかを見れば  
 $x \rightarrow 10-x$